

つるのおんがえし



先日バイクを走らせていると、「あー、秋の香り…」キンモクセイのあの香りです。子供の頃、通学路に生えていたキンモ

クセイの木に近寄って、「トイレの芳香剤のニオイがする～」……。幼少期の秋には、季節感なんてまるで無かった芦川永光です。

季節の変わり目ですね。急に寒くなって、体調崩されたりしていませんか？バイクの移動は雨が降ると結構大変。でもあの暑かった夏がようやく終わり、外のさわやかな空気を感じたくて、多少遠くでも出来るだけバイクで向かうようにしています。お客様からは「安全運転でね！」との声を頂いています。ご安心ください。30代の運転は、「右よし！左よし！前方よし！」の合図がバッチリの安全運転です。紅葉の時期には、山でもパーツと走りに行きたいなあ。

2008年の野球界・・・涙です。

私は小・中と丸坊主の野球少年でした。私の礼儀作法は、監督の“尻バット”が身につけさせてくれたと言っても、過言ではありません。野球やってなかったら、かなり“分かってない奴”になっちゃってただろうなあ・・・と思えるほどです。

さて、2008年の野球界は一言、「激動」でしたね。私からしたら、本当悲しい事ばかりでした。それは野球少年だった自分にとってのヒーローだった人たちの引退。

野茂秀雄、桑田真澄、そしてこれを書いている今、ニュースで清原和博選手の引退セレ

モニーを見えています。もう、泣けて泣けて仕方ありません。キーボードを打つのも辛いです。辛過ぎます。特に巨人時代の清原選手の活躍には、何度も泣かされました。「男-清原」のフルスイングが、もうテレビで見れないと思うと、本当に残念です。清原選手、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

愛される選手の条件って一体なんでしょう？記憶に残る選手の条件ってなんでしょう？無い知恵を絞って、私なりに考えてみました。

私の記憶に残る選手は、とにかく燃え尽きるまでプレーしていました。怪我をしても、逆境に立たされた時にこそ、力を発揮していました。これ以上は辛くて書けません。団塊の世代のヒーローが「王・長嶋、ON」ならば、私のヒーローは「トルネード投法の野茂」と、「K・Kコンビ」なのです。2008年は忘れられない年になると思います。

集客チラシのヒミツをちょっとだけ！

突然ですがこんな経験、ありませんか？

■お父さんが冷蔵庫の前で騒いでいます

「おーい母さん、マヨネーズはどこだ？」

「もう、ここにあるじゃない！」

「あ・・・、ありがとう・・・」

「もう、どこに目つけてんのよ！」

お父さんは必死に探しても見つけれないのに、お母さんはいとも簡単に見つけてしまいました。何故でしょう？

■お父さんが車を運転、助手席でお母さんは地図を見えています。そこでお母さんが一言

「どこを走っているのか分からない・・・」

「今この道を、こっち向きで走ってるんだよ。何で分からないの？」

「つるのおんがえし」丸坊主だった私が「つる」と呼ばれるようになって、20数年。そんな「つる」があなたに「おんがえし」をします

毎月1回発行 発行編集責任者 感動倉庫(かんどうそうこ) 芦川 永光

住所 藤沢市長後 1135-11-101 電話 090-1856-5593 FAX0466-65-3347 メール ashikawa@kando-soko.com

「地図をくるくるまわさないと、分からなくなっちゃう・・・」

お父さんはちょっと見ただけでどこを走っているかが分かるのに、地図をずーっと見ているお母さんは、現在地を見失ってしまいました。何故でしょう？

これ、原因を科学的に証明できているんです。男性と女性の脳の構造の違いで、目の使い方が違うのです。分かりやすく言えば、男性と女性では、モノの見方が違うのです。もっと分かりやすく言いますと、

「**男性は点でモノを見て、女性は面でモノを見る**」のです。

冷蔵庫の中から、マヨネーズをすぐに探し当てたお母さんは、面でモノを見ているから、すぐに見つけられる。地図の道路を点でたどって、現在地が把握できるのがお父さん、という事です。

これは、「空間把握能力」の差なのです。そこで私たちが創るチラシのお話。私たちが創るチラシって、文字が多いんです。創っている私も時々、「書きすぎかなあ」と心配になることもあります。

しかーし！！チラシを読むのは、主に女性。字が多く、男性が見ると「ごちゃごちゃしている」ように感じますが、女性は面で見れるので、重要と感じるキーワードを抽出し、内容を深く読み取ることが出来るのです。

これが集客チラシのヒミツなのです。

事実、男性のお客様からは「文字多くて、見づらくないですか？」と聞かれる事、本当多いですが、そこはきっちり反響が出てるんですよね。科学的に証明された女性の目、視点を捉えた反響広告。それが感動創庫の集客チラシです。

車庫入れがうまいのは男性。ですからお父さん！お母さんが車のカドをこすっても、怒らないでください。四葉のクローバーを探す

のが得意なのは女性。ですからお母さん！

「無い無い」と騒ぐお父さんは、相当必死ですから、理解をしてあげてください。

そんな四葉のクローバーを探しだす奥様に、“見つけてもらえる”のが「集客チラシ」。これ、創ってると本当楽しいんです。

感動創庫の看板商品は集客チラシ。そこで先日、「集客チラシ.com」の日本語ドメインを取得しました。ホームページもぜひご覧になってくださいね。ちょっと宣伝でした～。

↓↓

<http://kando-soko.com>

今月の23～25日、「湘南平塚テクノフェア」という、商工業の事業者が集まるイベントに参加する事になりました。商工会議所の経営相談をされている方とのご縁での出展です。

と言いましても、まだこの時点で具体的に何をやるのか決まっていません。入場された方の中に集客でお困りの方が、はたして数人でもいらっしゃるのかどうか。私たちのような業種が参加したら、いったいどうなるんだろうか…。それすらも分からないままの参加です。

まあ、今から面白い事を考えて、集まった人に少しでも印象が残るようなことを、やってみようと思っています。同封しましたパンフレットがこのイベントの概要です。

お時間がある方はぜひいらしてください。そして、私たちのブースにお越しの際には、“あったか煎れたて”のおいしい～いコーヒーがございます。「元気でやってるか」と一声掛けてくださいね！

場所は平塚の相模川沿い。ホテルサンライフの裏にある、「ひらつかアリーナ」です。入場料は無料。駐車場もありますよ。

芦川 永光

「つるのおんがえし」丸坊主だった私が「つる」と呼ばれるようになって、20数年。そんな「つる」があなたに「おんがえし」をします

毎月1回発行 発行編集責任者 感動創庫(かんどうそうこ) 芦川 永光

住所 藤沢市長後 1135-11-101 電話 090-1856-5593 FAX0466-65-3347 メール ashikawa@kando-soko.com